

鶴ヶ島市都市農業振興計画 目標指数との比較（令和5年度末時点）

資料 1

指 標 名 称	計画策定時 (令和元年度)	計画策定1年目 (令和２年度)	計画策定2年目 (令和3年度)	計画策定3年目 (令和4年度)	計画策定4年目 (令和5年度)	比較 (R4・R5)	現状・対策等	中 間 値 (令和６年度)	目 標 値 (令和11年度)
認定農業者数	１６経営体	１６経営体	１７経営体	１８経営体	１８経営体			２５経営体	３０経営体
新規就農者数（※支援を行った数。就農離脱（4名）含む）	１４人	１６人	１６人	１８人	１８人			１８人	２３人
企業参入件数	３件	７件	７件	８件	８件		大尽ファーム㈱、NP0法人こすもす作業所、NP0法人パン工房カウベル、㈱みゆきふぁ～む、㈱苺の里、NP0法人あゆみ福祉会、(有)加藤牧場、㈱ねぎらい	５件	８件
農業法人化件数	１団体	１団体	３団体	３団体	３団体		㈱長峰園、大尽ファーム㈱、㈱みゆきふぁ～む	２団体	３団体
アグリサポート登録者数	—	—	２人	２人	３人	50.0%	（受入農家2件）中島養鶏場、比留間園芸（認定農業者）→市HPに掲載中	２０人	４０人
特別栽培農産物件数	１１件	１１件	１０件	１０件	９件	▲10.0%	茶5件、ブルーベリー3件、トマト1件 減：茶2件、増：トマト1件	２０件	３０件
S－GAP 認証取得件数	２件	２件	３件	４件	４件		㈱長峰園、須藤園、大宝園、NP0法人パン工房カウベル 「埼玉県農業生産安全確認運動」のPR（市HP等）実施中	６件	１０件
ブランド農産物作付面積（ごぼう、ねぎ、里芋）	—	—	—	—	—		ごぼう・里芋・ねぎなど、ブランド化に向け品目を検討してきたが、ブランド化は困難と判断した。今後は、既存の農産物に着目し、鶴ヶ島産農産物の生産促進を図る。	８００a	１,０００a
ブランド農産物取扱飲食店舗数	—	—	—	—	—		ごぼう・里芋・ねぎなど、ブランド化に向け品目を検討してきたが、ブランド化は困難と判断した。今後は、既存の農産物に着目し、鶴ヶ島産農産物の生産促進を図る。	２０店舗	４０店舗
鶴ヶ島産農産物加工品数	—	—	—	—	—		ごぼう・里芋・ねぎなど、ブランド化に向け品目を検討してきたが、ブランド化は困難と判断した。今後は、既存の農産物に着目し、鶴ヶ島産農産物の生産促進を図る。	５品目	８品目
摘み取り観光農園開設数	３農園	３農園	４農園	４農園	４農園		比留間農園（いちご）、青い星印（ブルーベリー）、カウベル（いちご）、沼倉農園（さつまいも） 観光農園協会のキウイフルーツについては、朝市・産業まつりにて販売。来年度から摘み取り開始予定。	６農園	１０農園
学校給食における地場農産物使用割合	１０．１%	９．６%	１３．０%	１７．１%	１３．８%	▲19.3%	夏の猛暑により、農産物の収穫量が減少したことによる。 学校給食センター、JAいるま野（直売所）との連携により使用割合の回復に努めたい。	１６．０%	２０．０%
保育園、幼稚園等への地場農産物の出荷件数	３個所	３個所	３個所	３個所	３個所		つるがしまゆうきの会、茶業協会：市内保育所（鶴ヶ島・富士見）、上広谷幼稚園	４個所	４個所
企業への地場農産物の提供	１企業	1企業	0企業	0企業	0企業		新たな企業の発掘に努める。	３企業	４企業
農地中間管理事業による農地集積面積	３．０ha	６．０ha	７．０ha	７．３ha	６．８ha	▲6.8%	減：明日の担い手育成塾生の研修農地の研修期間満了により減少。 増：高倉地区の圃場（小麦・大豆）の拡張（いるま野アグリ）	６．０ha	８．０ha
農用地利用権設定面積	１２．０ha	18．４ha	17．５ha	18．１ha	17．６ha	▲2.8%	利用権設定が更新されなかったことにより減少。 貸し希望農地の把握等による農地活用に努める	1６．０ha	20．０ha
人・農地プラン策定地区数	１地区	１地区	３地区	３地区	３地区		令和３年度３地区の実質化。 令和７年３月末までに各地区の実情にあった地域計画の策定を農業委員会との連携により進める。	３地区	４地区
市民農園開設数	２農園	２農園	２農園	２農園	２農園		内野農園、杉下農園 貸し希望農地の把握等により検討を進める	４農園	６農園
多面的機能支払交付金取組団体数	１団体	１団体	１団体	１団体	１団体		高倉ふるさとづくりの会が取組んでいる。他地域の要望団体の把握に努める	２団体	３団体
学校ファーム設置数	９校	９校	１２校	１２校	１２校		１校（鶴ヶ島中）が未設置 農業を通じた児童生徒に対する食育や情操教育の充実を図る事業であることを校長会等でのPRに努める。	１３校	１３校
地域との協働、市民参加による地域資源を活用した事業の開催	６回	３回	３回	２回	３回	33.3%	菜の花まつり、生き物探し隊、サフランフェスタ 農業交流センターとサフラン研究会との共催により、第１回サフランフェスタを開催した。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により主催者となる実行委員会の活動が再開されていないため 事業が中止（キャンドルナイト、農福マルシェ） 農業交流交流センターとの連携により事業拡大を図る。	８回	１０回

・・・対前年度比、増の項目

・・・対前年度比、減の項目